

事業番号	04 11 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	文化芸術振興事業	部局	県民文化部	課・室	文化振興課				
		実施期間	S44 ～	E-mail	bunkashinko @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、複数年にわたって、文化行事等をはじめとする文化芸術活動の自粛・縮小が生じている。
- ・県民が生活の様々な場面で文化芸術に親しみ、心豊かに暮らしていくためには、長野県の文化芸術の資源をハード・ソフト両面から最大限活用し、地域や民間団体など多様な主体と文化芸術のつながりを拡大することが求められる。

2 事業目的

県民が心豊かに暮らすことができるよう、文化芸術を振興し、文化芸術の力を様々な分野に生かす。

3 事業目的を達成するための取組

- ①「長野県文化芸術振興計画」に基づく施策を展開
- ・地域における文化芸術活動の支援を強化するため、信州アーツカウンシルによる助成、相談・助言、様々な主体との連携・協働等を実施
 - ・児童生徒の主体的な学びの機会を創出するため、アートの手法を活用した学びを教育現場において取り入れられる環境づくりを推進
 - ・県民に世界水準の芸術を提供するため、セイジ・オザワ 松本フェスティバルを共催
- ②県立文化施設の管理運営
- ・県立文化施設（文化会館、創造館、美術館）の指定管理
 - ・県立美術館における企画展の展開、交流・学習事業の充実

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度	R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	信州アーツカウンシルの連携・協働・協力団体数	団体	－	47	—	84	↗	70	達成	信州アーツカウンシル事業の面的な広がりを目指して、連携・協働団体等の拡大を目標値として設定
②-1	県立文化会館ホール利用率	%	48.8	61.7	↗	64.8	↗	70	未達成	文化会館の職員体制等を踏まえ、ホールが最大限稼働している状況として目標値を設定
②-2	県立美術館の企画展・常設展観覧者数	人	300,492	336,528	↗	214,075	↘	207,000	達成	令和５年度に予定している企画展の内容等を踏まえ、目標値を設定（目標値は企画展の内容に基づき各年度ごとに設定）昨年度と同程度の割合を設定 ※R5・R6当初・R5補正予算案シートに記載の目標値及び実績値について、美術館の公表数値と異なる集計方法を用いていたため、混乱を避ける観点から、統一しました。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
3-2①	文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用	★信州アーツカウンシルの支援等団体数	団体	2021 (R3)	—	2022 (R4)	197	2023 (R5)	218	2027 (R9)	350

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	1,840,389	144,495	1,984,884	1,485,057	1,975,633	9.0
R4年度	0	1,526,453	240,697	1,767,150	1,290,854	1,747,220	9.0
R3年度	0	1,660,452	171,848	1,832,300	1,282,083	1,805,223	9.0

事業番号	04 11 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	文化芸術振興事業	部局	県民文化部	課・室	文化振興課		

7 主な取組実績と成果

①「長野県文化芸術振興計画」に基づく施策を展開
○ 文化芸術活動の中間支援を行う「信州アーツカウンシル」により、37の文化芸術団体に助成を行うなど、218団体に支援を行った。
○ 児童生徒の主体的な学びの機会を創出するため、アートの手法を取り入れたプログラム展開として、9校でのプログラムの実施、教員向けワークショップの開催（全4回）等を行った。
○ セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催を通じて、「子どものための音楽会」を6回開催する等により、県民が世界水準の音楽に触れる機会を創出した。
②県立文化施設の管理運営
○ 県立文化施設6館（県民文化会館、伊那文化会館、松本文化会館、飯田創造館、佐久創造館、県立美術館）を指定管理により運営した。
○ 県立美術館において、企画展5回、コレクション展を12回開催するとともに、移動展2回・交流展1回の開催や、スクールプログラム（学校団体鑑賞）の実施や、障がいのある方のための特別鑑賞日の開催等、交流・学習に資するプログラムを実施した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州アーツカウンシルの連携・協働・協力団体数	R4年度推移	—	R5年度推移	↗	達成状況	達成
信州アーツカウンシルの自主事業の実施等を通じて様々な団体との連携・協働を行ったため、目標値を上回った。							
指標②-1	県立文化会館ホール利用率	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に変更となり、文化行事等が本格的に再開したことにより、目標には達しなかったものの、昨年度から利用率が向上した。							
指標②-2	県立美術館の企画展・常設展観覧者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	達成
企画展の観覧者数が想定よりも伸びなかったものの、新収蔵品の展示等により常設展（本館コレクション展及び東山魁夷館コレクション展）の観覧者数が堅調に推移した結果、目標を上回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
・令和4年の設立から3年目となる「信州アーツカウンシル」の中間支援機能を高めていくために、認知度の向上や連携・協働のさらなる拡大等を図っていく必要がある。
・教育現場における文化芸術を活用した学びを広げるには、プログラムの実施校を拡大していくとともに、持続可能な事業の仕組みを検討していく必要がある。
・県内唯一の広域的な機能を担う美術館として、県立美術館において、全ての県民が美術に触れる機会を創出していく必要がある。
(2) 事業改善の方策
・信州アーツカウンシルにおいて、助成プログラム等による文化芸術活動支援を継続していくとともに、各地域や分野と文化芸術の担い手との交流を広げていく。
・引き続き身体表現（演劇・ダンス）や美術作品の対話鑑賞を取り入れたプログラムを小中学校等で実施していくとともに、ファシリテーターの養成等を進めていく。
・県立美術館において、企画展やコレクション展を充実させていくとともに、誰にでも開かれた美術館として、地域へのアウトリーチや、インクルーシブ・プロジェクト等の交流・学習事業を実施していく。

事業番号	04 11 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	文化芸術振興事業		部局	県民文化部	課・室	文化振興課	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	芸術文化活動推進事業		399,719 千円	372,299 千円	431,016 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州アーツカウンシル（A C）事業	負担金	文化芸術活動の中間支援機能を担う「信州アーツカウンシル」による助成、相談・助言や、様々な主体との連携・協働による人材育成等を支援 助成件数37件		
2	「アートの手法を活用した学び」推進事業	直接	アートの手法を活用した学びの教育現場への導入を推進し、子どもたちのコミュニケーション能力、創造力、他者理解や自己肯定感の向上を支援 アートの手法を活用した学びのプログラム実施校9校		
3	東京藝術大学連携事業	負担金	東京藝術大学と連携してアートの力で創造性を育む取組を実施 アーティスト・イン・レジデンスの実施1地域		
4	文化芸術情報発信力強化事業	負担金	文化芸術情報発信サイトによる一元的な情報発信 特集記事の掲載16本		
5	信州アーティスト活動促進事業（next事業）	直接 負担金	長野県ゆかりの芸術家を目指す者を対象に、活動情報を発信するとともに、文化施設等での発表の場を提供する 新規登録者19件		
6	佐久創造館共同・連携制作支援事業	負担金	佐久創造館の指定管理者が実施する文化芸術活動を支援 小中高校生の合唱活動33回、能楽活動14回、演劇活動13回		
7	県民芸術祭の開催	直接 負担金	県民芸術祭に参加する芸術団体に対し、事業費の一部を負担、県民コンサートの開催等 負担金支出36団体		
8	地域創造負担金	負担金	（一財）地域創造への負担金を拠出 （一財）地域創造による県内市町村への助成5件		
9	セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催	負担金	県民に世界水準の音楽芸術を提供するためセイジ・オザワ 松本フェスティバルを開催 「子どものための音楽会」開催6回		
10	県民文化会館・ウィーン楽友会館姉妹提携事業	負担金	ウィーンから演奏家を招へいし、演奏会・出前コンサート等を開催 演奏会開催4回		
11	伊那文化会館芸術鑑賞促進事業	負担金	南信地域の文化振興を図るため、オーケストラ公演を実施 公演開催1回		
12	山岳文化創生事業	負担金	信州の山岳文化創生会議による様々な山岳文化情報の発信 シンポジウムの開催1回		
13	県立美術館広報用リーフレット等の作成	直接	県立美術館を国内外にPRするリーフレットを作成 作成部数5,500部		
14	文化振興基金の積立	直接	・文化振興基金運用益の積立 ・文化振興基金の積み増し 積立金額170,158千円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	文化施設管理運営事業		1,405,504 千円	1,374,921 千円	1,544,617 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	文化施設指定管理料	指定管理	県立文化会館、県立美術館、創造館の管理運営 対象施設6館（県民文化会館、伊那文化会館、松本文化会館、県立美術館、飯田創造館、佐久創造館）		
2	文化施設ESCO事業	委託	松本文化会館における省エネルギー対策等を実施 対象施設1館（松本文化会館）		
3	県立文化施設指定管理者選定会議の開催	直接	次期指定管理者を選定するための選定会議の開催 対象施設5館（県民文化会館、伊那文化会館、松本文化会館、飯田創造館、佐久創造館）		
4	指定管理者制度における第三者評価	直接	指定管理者制度導入施設の管理運営に第三者意見を反映させるとともに、財務状況等について専門的見地から助言 対象施設1館（県立美術館）		
5	長野県立美術館協議会の開催	直接	美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるため、美術館協議会を開催 開催回数1回		
6	長野県美術品収集に係る外部有識者からの意見聴取	直接	美術品の取得に関し、外部有識者から美術品の評価に関する事項について意見を聴取 意見聴取1回		
7	文化施設改修事業	委託 直接	文化施設の改修工事の実施（財産活用課一括計上事業以外） ○ 県民文化会館：LED照明改修工事設計 ○ 伊那文化会館：LED照明改修工事 ○ 松本文化会館：LED照明改修工事 改修工事設計1か所、改修工事2か所		
8	県立美術館の美術品取得	直接	・美術品の取得 美術品取得9作品		